

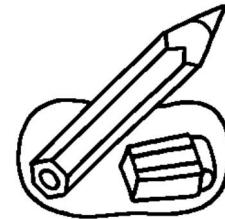
教科書問題 緊急学習会のお知らせ

「つくる会教科書」は教科書としてふさわしくありません。

日時 7月8日（金） 午後6時半から午後9時

会場 荏原第5区民集会所2F 第一集会室

講師 俵 義文さん（子どもと教科書ネット21事務局長）



7月に品川区教育委員会は中学校教科書の採択検討をおこないます。「つくる会」教科書は戦争賛美だけでなく多くの問題点を指摘されています。このような教科書が採択されることのないように区民の声を教育委員会へあげていきましょう。

そのための緊急の学習会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

「つくる会」歴史教科書の問題点（新版「つくる会」教科書の問題点より）
13項目の問題点が指摘されています。その一例を紹介します。

⑪戦争と国民

アジア太平洋戦争末期のところで、「日本の将兵は敢闘精神を發揮してよく戦った」一般国民も「このような困難の中、多くの国民はよく働き、よく戦った。それは戦争の勝利を願っての行動であった」と称えています。なぜ人命を尊重せずに全滅するまで無理な戦いをしたのかという問題も、戦争そのものの善悪も考えさせずに、ただ国のためにつくしたのが尊いということを子どもたちの頭に植え付けようとしています。

一方、日本の受けた被害は軽くしか扱っていません。広島・長崎への原爆については、それぞれ「投下した」とたった一言書くだけで、その被害の実相は全く書いていません。原爆による犠牲者数さえ書いていません。被爆国日本の教科書としては驚くべきことです。15万県民の命を奪った沖縄戦もたった2行半です。